

— あの質問のゆくえ —

捕獲わなの増設は



鳥獣被害の減少、箱わなの活躍に期待

有害鳥獣対策として、捕獲わなの数を増やすことはできないか。

(令和5年9月議会の質問)

答 弁

わなの数については、白鷹町鳥獣対策協議会で検討しながら対応したい。

どうなった

箱わなを増設し※捕獲圧を高めている

◆クマ被害の対応としては、役場関係部署や関係機関、地域住民の方々と連携・情報共有を行い、花火による追い払いや注意喚起、広報等を実施しています。状況に応じて、白鷹町鳥獣被害対策実施隊（猟友会）と連携を取りながらクマの有害捕獲を実施しています。

◆わな等の資機材導入にあたっては、仕様や必要数量、管理方法等を実施隊と話し合いをし、令和5年9月以降、クマ用ドラム缶式わな2基とクマ用箱わな1基を新たに導入し、5基から8基に増設しました。また、イノシシによる農作物被害も相次いでおり、今年度にイノシシ用箱わな30基を新たに増設し捕獲圧を高めています。

◆鳥獣被害対策については、①電気柵等による被害防除、②有害捕獲による個体数管理、③藪の刈払いや放任果樹・残さ等の除去による生息環境管理の3本柱が重要であると考えていますので、関係機関はじめ地域の方々の活動による被害軽減にご協力をお願いいたします。

※捕獲圧…狩猟及び許可捕獲（有害鳥獣捕獲や個体数調整等）による野生鳥獣に対して与える影響のこと

【林政課】

捕獲わなが増設されたことを高く評価する。今後は、鳥獣被害対策実施隊の人材確保や処遇改善など、支援の充実をさらに推進していただきたい。

